

次期Tableと現行DSの対応関係分析レポート

1. データ概要

本分析に使用したデータは以下の通りです。

- **対応関係データ**: ステータス管理テーブル登録状況_.xlsm の「星取表ANS」シートに記載された、次期Tableと現行DSの対応関係（1,713件）
- **次期Table総数**: 設計書・資材整合性チェック.xlsx に記載された全Table（臨時テーブルを除外済み、9,447件）
- **現行DS総数**: DS_Jobstep.xlsx に記載された全DS、及び共通DSに記載されたDS（臨時DSを除外済み、240,254件）

2. Table-DSマッピングの分類（1:1 / 1:n / n:1 / n:n）

星取表ANSに記載された各ペアを対象に、**1つのTableに対応するDSの数および1つのDSに対応するTableの数**に基づいて4種類に分類しました。

分類	件数	割合
1:1	792	46.23%
1:n	357	20.84%
n:1	331	19.32%
n:n	233	13.60%
合計	1,713	100%

3. Table・DSの存在性チェック（全件 1,713）

星取表ANSに記載された**各ペア**について、Tableが「全Tableリスト」に存在するか、DSが「全DSリスト」に存在するかを確認しました。

存在区分	件数	割合
両方に存在（both exist）	1,517	88.56%
Tableのみ存在	133	7.76%
DSのみ存在	57	3.33%

存在区分	件数	割合
両方に存在しない	6	0.35%
合計	1,713	100%

4. 各マッピング類型における「両方存在」件数と割合

第2章で分類した各カテゴリーごとに、Table・DSの両方が全体リストに存在するペア数を数え、その件数を次期Table総数（9,447）および現行DS総数（240,254）で割り算しました。

類型	両方存在件数	次期Table総数に対する割合	現行DS総数に対する割合
1:1	672	7.12%	0.28%
1:n	334	3.54%	0.14%
n:1	280	2.96%	0.12%
n:n	231	2.45%	0.10%

この数値は、次期Tableと現行DSの間における**実在する1対1対応の規模感**を示しています。

特に「672件（=7.1%の次期Tableに相当）」は、システム間のマッピングを検討する際に重要な指標となります。